

講 座	経済理論・統計、比較経済、政策科学、 経営学、組織経済学、 地域公共政策コース
専門科目	マクロ経済学

以下の問 1，問 2 の両方に解答しなさい。なお、問 1 は解答用紙の第 1 ページと第 2 ページに解答し、問 2 は解答用紙の第 3 ページと第 4 ページに解答しなさい。

【問 1】開放経済の IS-LM モデルを考える。財市場の均衡条件は、次のように表される。

$$Y=C(Y)+I(r)+G+X(e,Y) \dots\dots①$$

ここで、Y：国民所得、C：消費、I：民間投資、G：政府支出、X：貿易収支の黒字幅（＝純輸出：輸出－輸入）、e：（邦貨建て）為替レート（1ドル＝e円）とする。貨幣市場の均衡条件は、次のように表される。

$$M=L(Y, r) \dots\dots②$$

ここで、M：貨幣供給、L：貨幣需要、r：自国の利子率とする。また、資本市場が完全であると仮定し、資本移動による裁定行動の結果、自国の利子率は世界利子率 r^* に等しくなるものとする。

$$r=r^* \dots\dots③$$

なお、ここでは小国のケースを仮定し、自国の利子率の水準は世界利子率のそれに影響を与えないものとする。

- (1) 固定相場制度を想定した場合、財政政策（政府支出の増加）はどれだけ国民所得（Y）を増加させるか？ IS・LM 曲線のシフトの様子を図示することによって示しなさい。また、財政政策の効果の過程について、順を追って説明しなさい。
- (2) 変動相場制度を想定した場合、財政政策（政府支出の増加）はどれだけ国民所得（Y）を増加させるか？ IS・LM 曲線のシフトの様子を図示することによって示しなさい。また、財政政策の効果の過程について、順を追って説明しなさい。
- (3) 変動相場制度を想定した場合、金融政策（貨幣供給の増加）はどれだけ国民所得（Y）を増加させるか？ IS・LM 曲線のシフトの様子を図示することによって示しなさい。また、金融政策の効果の過程について、順を追って説明しなさい。
- (4) 以上のモデル分析に基づいて、固定相場制度および変動相場制度の下での、財政政策と金融政策のそれぞれの効果について整理した上で、この分析結果がもつ政策的な含意（インプリケーション）について説明しなさい。

【問2】ある経済の生産関数は、以下のように表される。

$$Y = TK^\alpha L^{1-\alpha} \quad (0 < \alpha < 1)$$

ここで、 Y は産出量 (GDP)、 T は技術水準、 K は資本量、 L は労働量である。市場は完全競争的であるとする。

- (1) α が資本分配率、 $1 - \alpha$ が労働分配率であることを示しなさい。
- (2) 労働分配率が 60%、経済成長率が 5%、資本ストック増加率 6%、労働増加率 1%であれば、技術進歩率は何%になるかを説明しなさい。
- (3) 技術水準、資本ストック、労働投入量の増加率が、さらにそれぞれ 1.2 倍に上昇したとする。この場合に、産出量の増加率は何%になるかを説明しなさい。

以上